

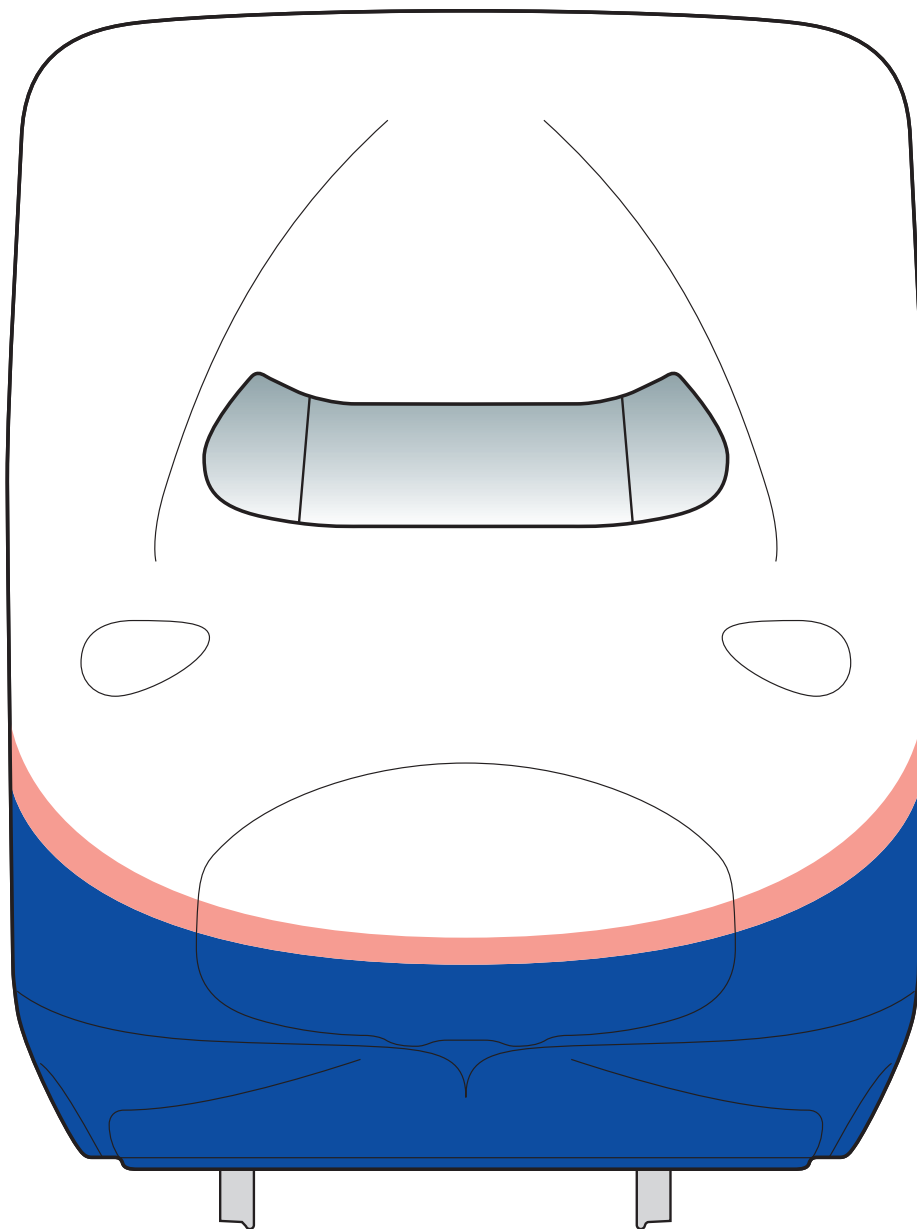
CORONA

コロナ衣類乾燥除湿機

(保証書付)
保証書はこの取扱説明書の
30ページに付いています。

取扱説明書

イー E453-112

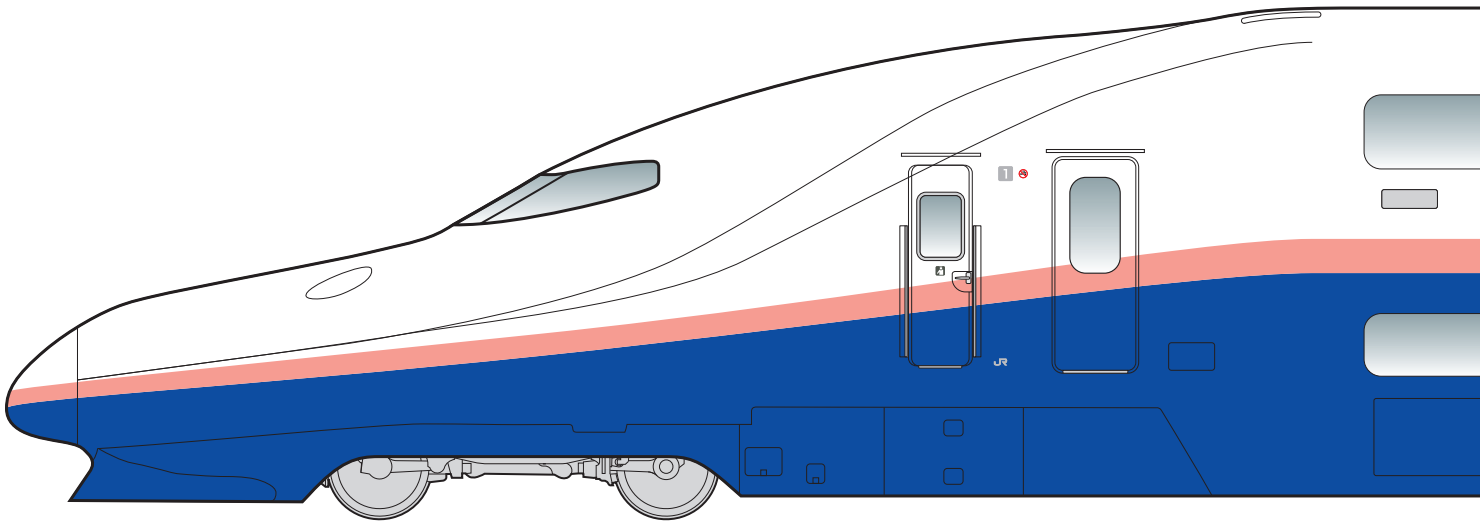


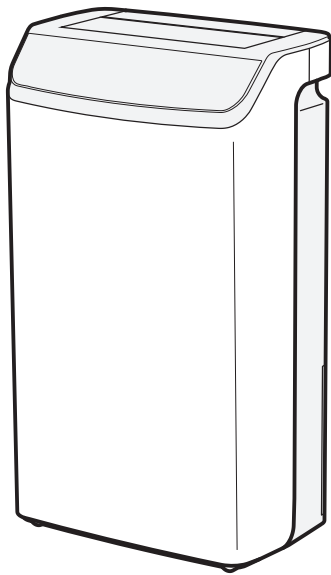
このたびは、コロナ衣類乾燥除湿機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで安全に正しくご使用ください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan.
In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

株式会社 **コロナ**





仕様

型 式	E453-112		
電 源	交流 100V		
電 源 周 波 数	50Hzの場合	60Hzの場合	
定 格 除 湿 能 力	11.0L/日	12.0L/日	
消 費 電 力 (ヒーター使用時)	295W (595W)	345W (645W)	
除 湿 可 能 面 積 の 目 安	木 造	23m ² (14畳)	25m ² (15畳)
	プレハブ	35m ² (21畳)	38m ² (23畳)
	鉄 筋	46m ² (28畳)	50m ² (30畳)
タ ン ク 容 量	約5.5L		
質 量	約13.5kg		
外 形 寸 法	高さ657mm × 幅378mm × 奥行235mm(+注水トレイ部 10mm)		
電 源 コード の 長 さ	約2.0m		

- この製品は電源周波数50Hz、60Hzで仕様異なります。
- 定格除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を継続する室内で運転したときの1日あたりの除湿量です。
- 除湿可能面積の目安は、日本電機工業会規格（JEM規格）に基づいた数値です。
- 待機電力は約0.5W(ワット)です。
- 製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
- 「マックスとき348号が発車いたします」の音声はHOYA株式会社ReadSpeakerの音源を利用しています。

ReadSpeaker
HOYA GROUP COMPANY

もくじ

ご使用の前に

ページ

- 安全上のご注意 4~5
- 知っておいていただきたいこと 6
- 衣類乾燥の上手な使いかた 7
- 各部のなまえとはたらき 8~9
- 準備と確認 10~11

使いかた

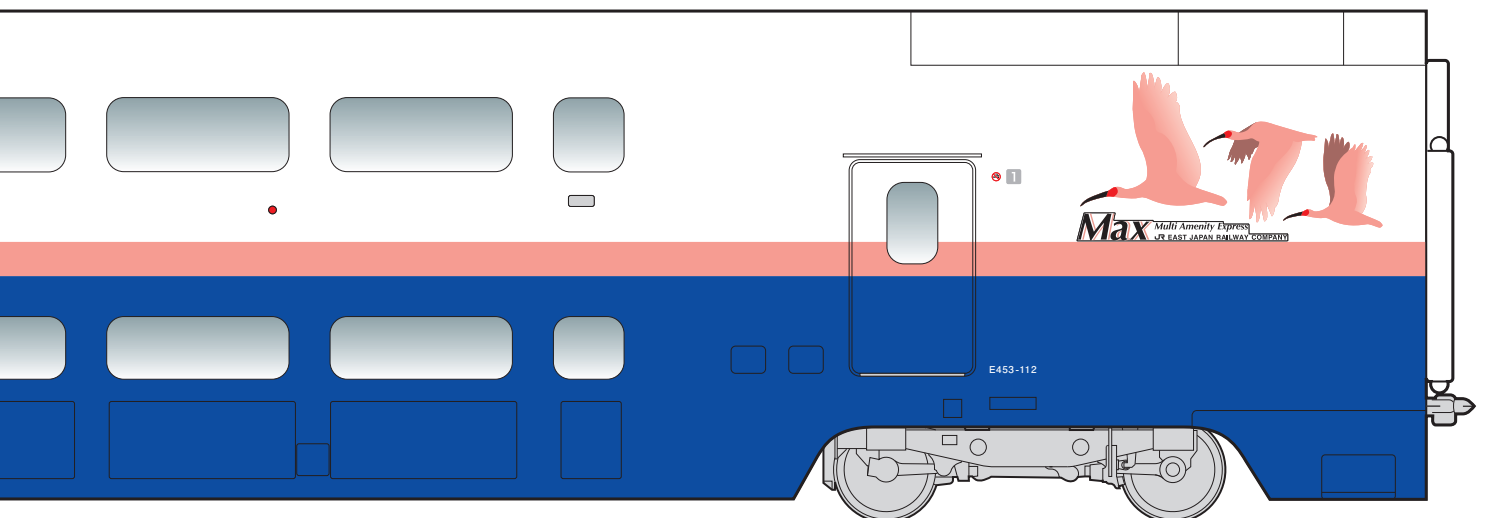
- 運転のしかた 12
- 衣類乾燥をしたいとき 13
- 除湿／空気を循環したいとき 14
- ヒーターの入／切を選ぶとき 14
- 風量を選ぶとき 15
- 風向を選ぶとき 15
- 切タイマーを使うとき 16
- 満水のお知らせ 16
- 排水のしかた 17
- 連続排水のしかた 18~19

お手入れ

- 内部乾燥のしかた 20
- 熱交洗浄のしかた 20~21
- お手入れのしかた 22~23
- 長期間使わないとき 23

必要なときに



- 故障かな?と思ったら 24
- 保証とアフターサービス 24
- お客様ご相談窓口 25
- MEMO 26~29
- 保証書 30~31





安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

○誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次のように区分して説明しています。










 警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
 注意	取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う、または物的損害を生じるおそれがある」内容です。

○お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

安全に使っていただくために

警告

電源コードの途中での接続、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしない 感電や発熱・火災の原因になります。		電源コードに重い物をのせたり、キャストで傷つけたり、加熱や加工したりしない 電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。	
電源コードは折ったり、束ねたり、ねじったり、挟み込んだり、引っ張ったりしない 電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。		電源プラグを抜いて運転の停止をしない 感電や火災の原因になります。	
電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根もとまで確実に差し込む ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や発熱・火災の原因になります。		お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く 内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。	 プラグを抜く
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、ボタンやルーバーを操作しない 感電の原因になります。		スプレーなどの缶を除湿機の近くに置かない 爆発や火災の原因になります。	
交流100V以外で使わない 定格以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になります。		発熱器具の近くに置かない 樹脂部分が溶けて、引火するおそれがあります。	
		吹出口や吸込口に指や棒および紙などの燃えやすい物を入れない 内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。また、ヒーターが発熱しており、やけどや発火のおそれがあります。	
電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 電源プラグや電源コードが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電や発火の原因になります。 コンセントの差し込みがゆるいときは、電気工事店に修理を依頼してください。 コンセントを交換しても異常に発熱するときは、お買いあげの販売店またはお客様相談窓口にて修理を依頼してください。			

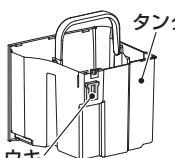
注意

除湿機を直接水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない 除湿機内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。			除湿機の上に物をのせたり、のったり、腰掛けたりしない 落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。		
吹出口や吸込口を洗濯物などでふさがない 風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。			除湿機からの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。		
除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない 健康を害する原因になることがあります。		スイングしているルーバーにさわらない 指や手をはさむなどのけがやルーバーが破損する原因になることがあります。			

安全に使っていただくために




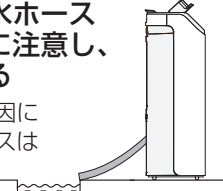
ご使用前に

⚠ 注意

<p>乳幼児、お子様、お年寄りなど、自分で操作できない人にひとりでは使わせない</p> <p>長時間吹出口の風を直接体に当てると、体調不良や脱水症状を起こす原因になることがあります。</p>	<p>移動するときは必ず運転を停止し、タンクの水をすて除湿機を傾けない</p> <p>水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。</p>
<p>長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>感電や漏電火災の原因になることがあります。</p>	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張って抜かない</p> <p>感電や発熱・火災の原因になることがあります。</p>
<p>お手入れをするときは40℃以上のお湯やベンジン、シンナー、みがき粉、エタノール、化学ぞうきんなどを使用したり、殺虫剤をかけない</p> <p>本体やタンクを傷め変形や割れ、水もれの原因になることがあります。</p>	<p>タンクからウキをはずさない</p> <p>タンクが満水になっても運転が停止せず、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。</p> 
<p>除湿機を倒さない</p> <p>横に倒した状態で運んだり、保管したりすると故障の原因になることがあります。</p>	<p>注水トレイには水道水以外（お湯、洗剤、化学薬品など）入れない</p> <p>変形や割れ、性能低下の原因になることがあります。</p>

設置について

⚠ 注意

<p>水のかかりやすい場所で使用しない</p> <p>感電や漏電火災の原因になることがあります。</p> 	<p>油・可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない</p> <p>万一もれて除湿機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。</p> 	
<p>薬品を扱う場所（病院、工場、実験室、美容院など）で使用しない</p> <p>空気中に溶けた薬品や洗剤により除湿機が劣化し、ひび割れや水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。</p>	<p>押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない</p> <p>風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。</p> 	
<p>水平で丈夫な場所で使用する</p> <p>ご使用中に除湿機が倒れると、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。</p>	<p>屋内専用なので、直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない</p> <p>過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。</p>	<p>食品や美術品、学術資料などの保存、業務用や特殊用途には使用しない</p> <p>保存品の品質低下の原因になることがあります。</p>
<p>排水ホースを使用する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにする</p> <p>排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内にもれて家財などをぬらす原因になることがあります。</p>	<p>連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする</p> <p>水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。排水ホースは定期的に点検してください。</p> 	

修理について

⚠ 警告

<p>異常時・故障時には、ただちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転入/切ボタンを押しても運転しないとき ・電源プラグや電源コードなどが異常に熱いとき ・こげくさい臭いがしたり、異常な音がするとき ・電源コードに触れると通電しなかったりするとき ・ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき ・その他の異常や故障があるとき <p>異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。運転を停止して電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。</p>	<p>分解・修理・改造をしない</p> <p>感電や火災・けがの原因になります。修理は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて依頼してください。</p>
---	--

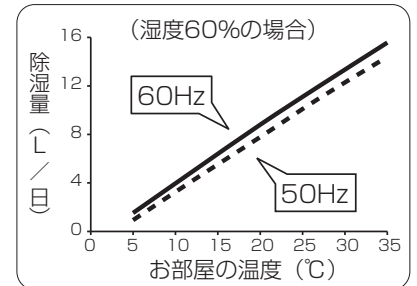
知っておいていただきたいこと

■運転可能なお部屋の温度について

- 運転可能なお部屋の温度は約5℃～約40℃です。
- お部屋の温度が約40℃を超えると、除湿機内部の温度が上がるため、保護制御がはたらき除湿せずに送風運転をすることがあります。お部屋の温度が高いときは、ルーバーを「上向き」にしてお使いください。
- お部屋の温度が約5℃以下の場合、除湿した水が凍りつくのを防止するため、除湿せずに送風運転になります。

■除湿量について

- お部屋の温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。また、同じお部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため、除湿量は減っていきます。
- ルーバーが「上向き」のときに除湿量は最大になります。



■霜取りについて

- お部屋の温度が約18℃以下になると、除湿機内部の熱交換器に霜が付くことがあります。その場合、自動的に霜取り運転をおこないます。
- 霜取り運転中は送風運転をします。除湿はできません。

■お部屋の温度上昇について

- 除湿機は冷房機ではありませんので、お部屋を冷やすことはできません。
- 運転中は排熱のため、ご使用条件によって、お部屋の温度が2℃～4℃またはそれ以上上昇します。

■湿度表示について

- 操作部の湿度表示は目安であり、お部屋の広さや設置場所などによっては、お部屋の湿度計の表示とは異なる場合があります。湿度は、同じお部屋でも場所や条件により差があります。
(除湿機の湿度表示とお部屋の湿度計の表示が異なる要因)
 - ・設置場所の違い
 - ・お部屋の温度や湿度ムラ
 - ・湿度計の精度の違い

■吹出口と吸込口について

- 吹出口と吸込口はふさがないでください。
- 吹出口や吸込口がふさがっていると、除湿機の保護制御がはたらき運転できないことがあります。

■アルミフィンについて

- 熱交換器に使用しているアルミフィンは、性能向上のため表面処理を実施しています。銅管の溶接の際の熱により変色やゆがんでいる部分の一部ありますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

■切り忘れ防止機能について

- 切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

■冷媒に関するご注意



この家庭用除湿機には、CO₂（温暖化ガス）193kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため修理・廃棄等に当たっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法に従い廃棄してください。フロンに関するお問い合わせは、お客様ご相談窓口までお願いします。


衣類乾燥の上手な使いかた

上手に使うことで、洗濯物をより効果的に乾かすことができます。洗濯物を早く乾かすには「お部屋の温度を上げること」「お部屋の湿度を下げること」「洗濯物に風をよく当てること」がポイントです。

■洗濯物を干すお部屋について

- 小さなお部屋で、閉めきって運転すると効果的です。
- 乾いたらなるべく早く取り込んでください。
梅雨時や雨の日などは、乾いても干したままにしておくと、また湿気を吸収します。

■干しかたについて

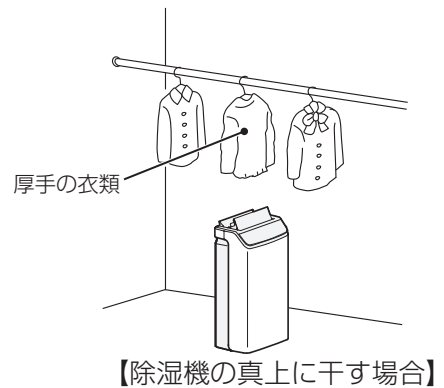
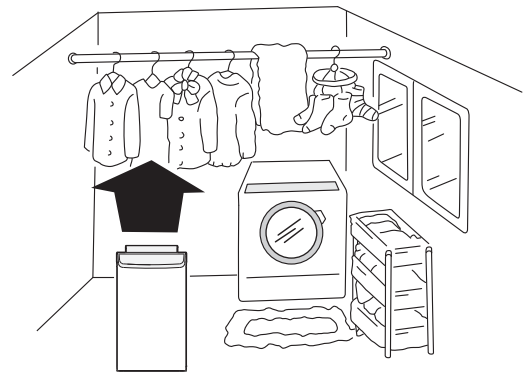
- 洗濯物に除湿機の風が当たるように、除湿機を置いてください。
- 風向を調節（ 15ページ）して、洗濯物に風がよく当たるようにしてください。ルーバーをスイングさせるとより効果的です。
- 洗濯物を干すときは、風が奥まで通るように、適度に間隔をあけて干してください。
- 厚手の衣類は乾くまでに時間がかかります。除湿機の風がよく当たるように、除湿機の真上か後ろ側の中央に優先して干してください。また、洗濯物のシワをしっかり伸ばしてください。
- ジーンズやスカートなどは裏返しにして、風通しをよくして干すと、乾きやすくなります。
- Tシャツや下着などの薄手の衣類は乾きやすいので、除湿機から離れた位置に干してください。
- ときどき除湿機の位置をかえたり、洗濯物の並べかたをかえたりすると、乾きやすくなります。

■除湿機の真上に干す場合

厚手の衣類は除湿機の真上に干して、一番遠い洗濯物に風が届いていることを確認してください。

■除湿機の後ろ側に干す場合

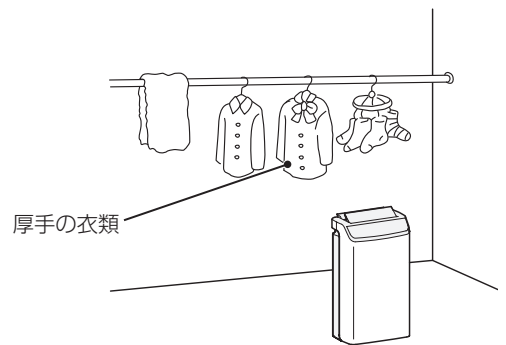
厚手の衣類は除湿機の後ろ側の中央に干して、一番遠い洗濯物に風が届いていることを確認してください。



【除湿機の真上に干す場合】

次の場合、洗濯物に乾きにムラができることがあります

- 洗濯物の量が多いとき
- 洗濯物を重ねて干しているとき
- 洗濯物に除湿機の風が当たりにくいとき
除湿機を置く位置や洗濯物を干す位置をかえて、洗濯物に除湿機の風が当たるようにしてください。
- お部屋の温度が低いとき
低温時は、常温時よりも乾燥に時間がかかり、乾く前に除湿機が運転を停止することがあります。ヒーターを使用するか、暖房機器の併用をおすすめします。
- お部屋が広いとき
お部屋の湿度が下がりにくいため、乾燥に時間がかかり、乾く前に除湿機が運転を停止することがあります。



【除湿機の後ろ側に干す場合】



吹出口や吸込口を洗濯物などでふさがない

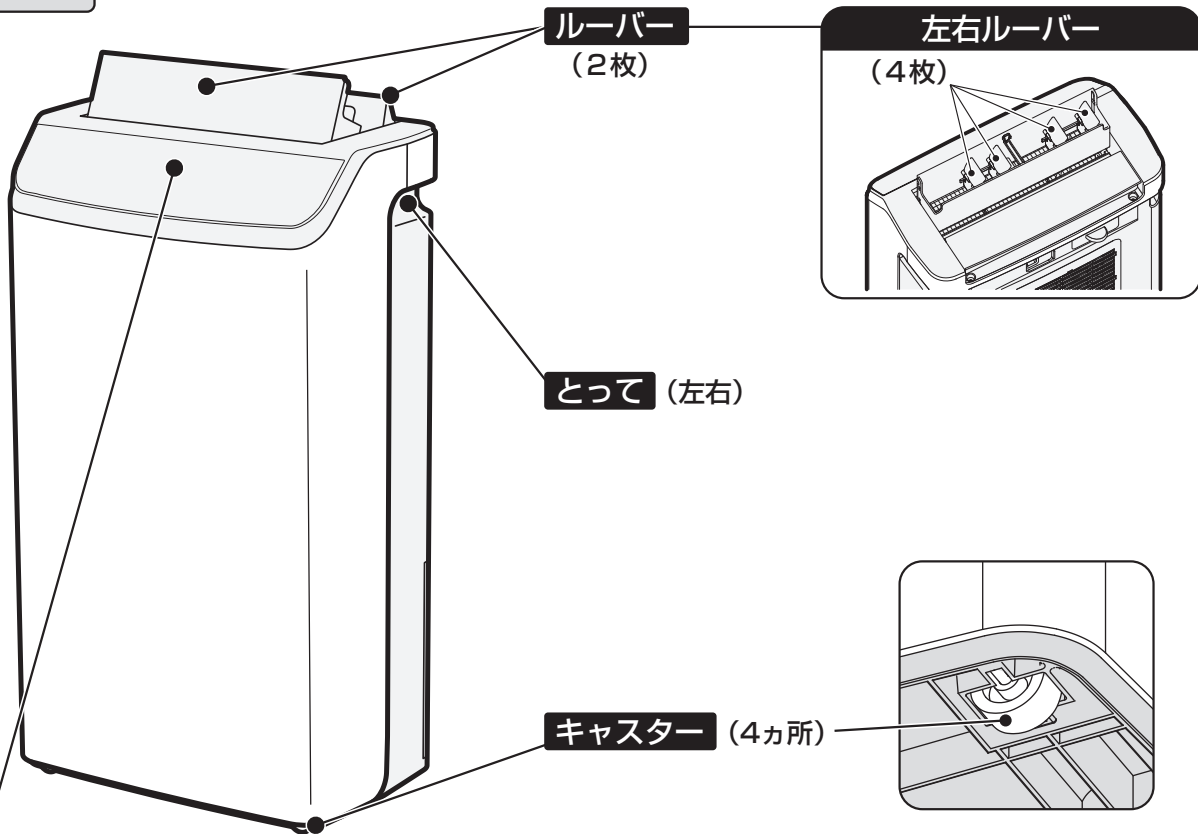
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

お願い

- 自動停止後、洗濯物の乾きが不十分なときは再び運転してください。
- 洗濯物を除湿機の真上に干す場合は、洗濯物が落下して吹出口をふさがないように注意してください。

各部のなまえとはたらき

正面



操作部

表示は全て点灯したときの状態です。

熱交洗浄表示

(☞ 20~21ページ)

湿度表示

湿度の状態をお知らせします。

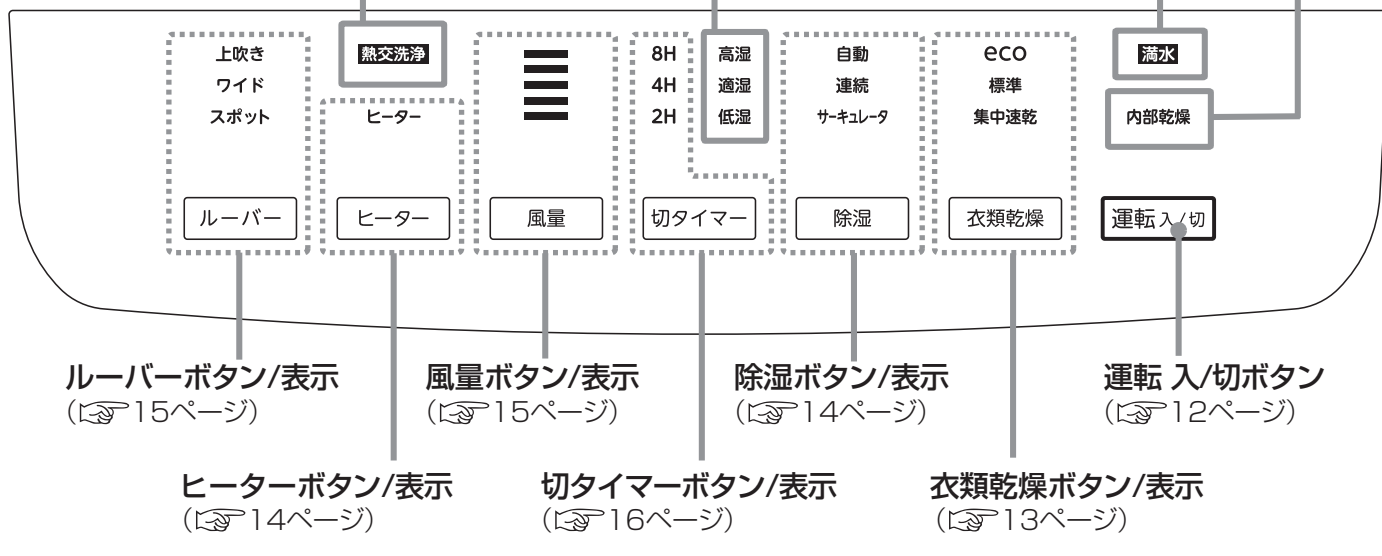
- ・【高湿】点灯：湿度が高いとき（約65%以上）
- ・【適湿】点灯：適度な湿度のとき（約40~約65%）
- ・【低湿】点灯：湿度が低いとき（約40%未満）

内部乾燥表示

(☞ 20ページ)

満水表示

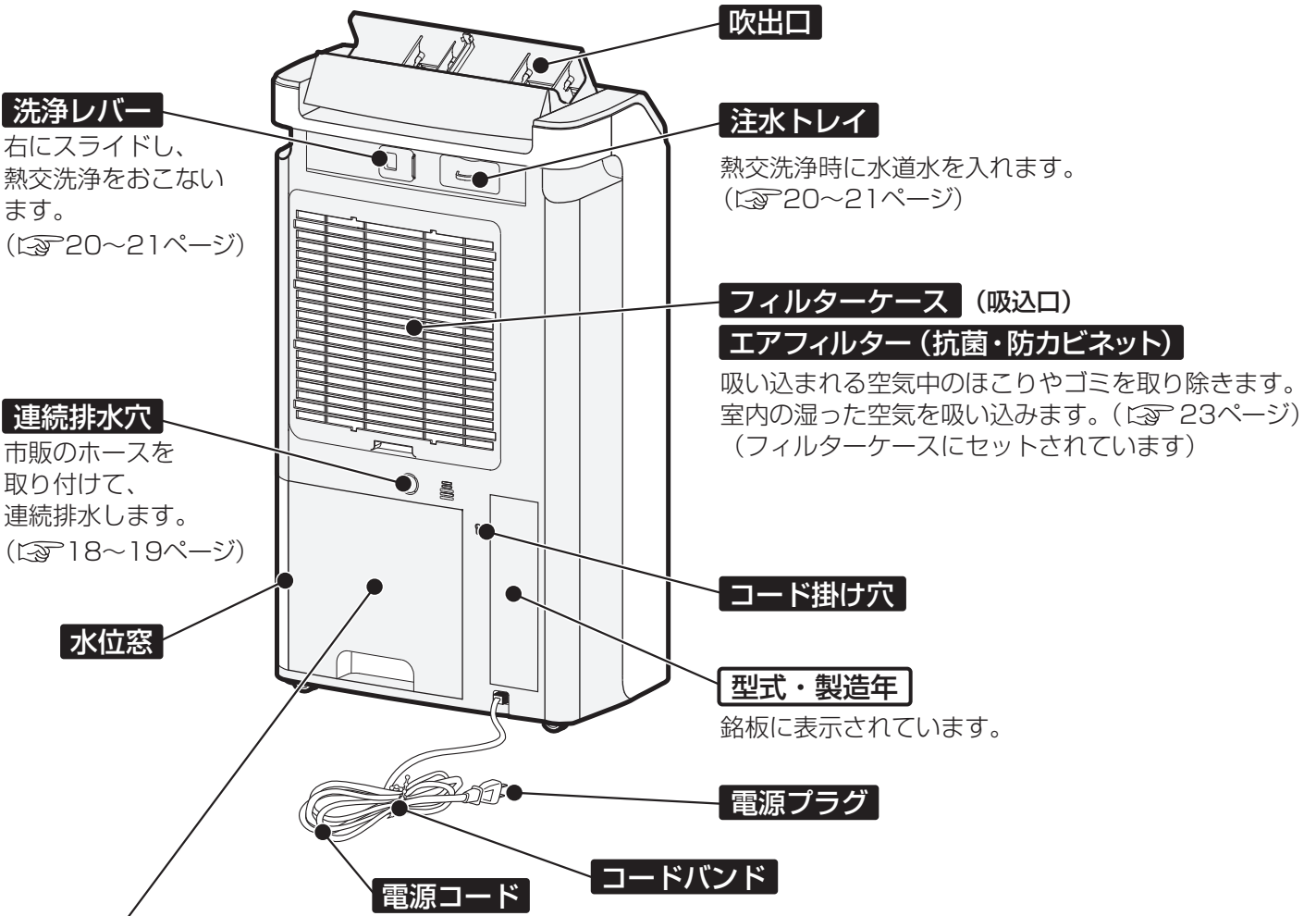
(☞ 16ページ)



お知らせ

- 湿度表示は目安であり、お部屋の広さや設置場所などによっては、お部屋の湿度計の表示とは異なる場合があります。
- 操作部の表面に保護シートを貼っていますので、はがしてご使用ください。

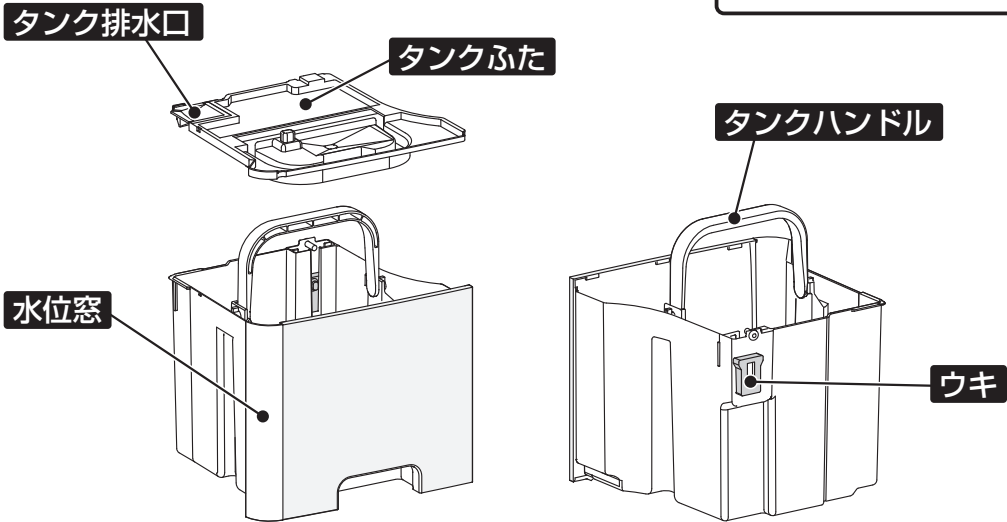
背面



タンク

除湿した水をためます。満水になると、自動的に運転を停止します (☞ 16ページ)。

お買いあげ時、タンクに水が残っている場合がありますが、工場での除湿テストによるもので異常ではありません。



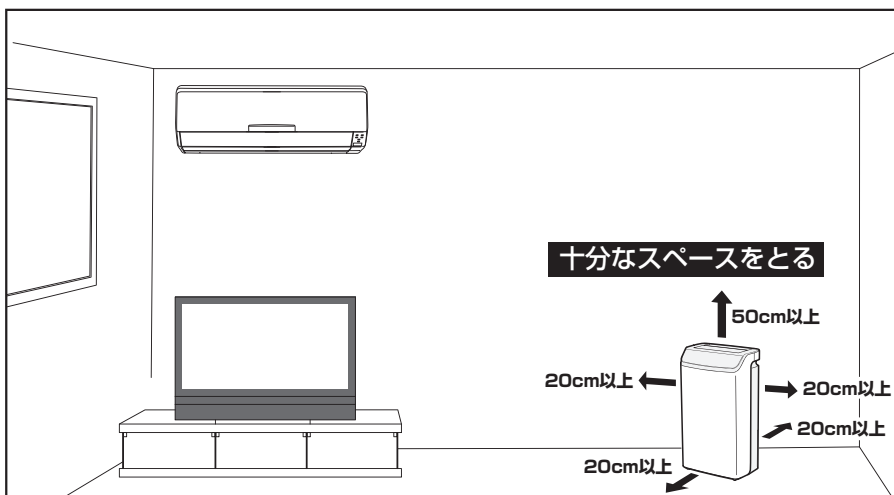
お願い

■タンク内のウキははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。

準備と確認

設置について

- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。変形・変色したり、安全装置が誤作動する場合があります。
- テレビやラジオからできるだけ離してください。ノイズが入る場合があります。
- 水平で安定した場所で使用してください。



移動するとき

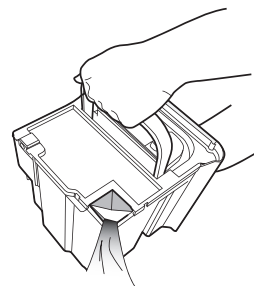


注意



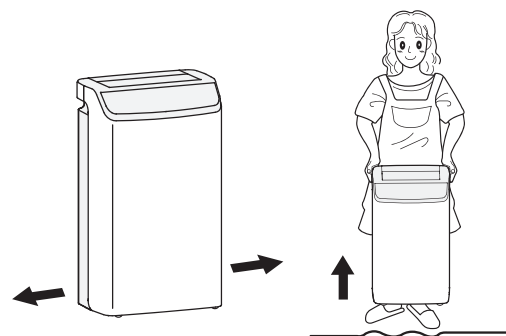
移動するときは必ず運転を停止し、タンクの水をすて除湿機を傾けない
水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

1. 運転を停止し、タンクの水をすてる (☞17ページ)



2. 左右のとってを持って移動する

- キャスターを使って横方向に移動できます。
- 部屋間の仕切りや凹凸のある場所、階段、傷のつきやすい床、じゅうたんなどでは、除湿機を持ち上げて移動してください。
- 除湿機を持ち上げるときは、左右のとってを持ち、傾けないようにしてください。
- 電源コードを引きずらないでください。電源コードが傷ついて断線することがあります。



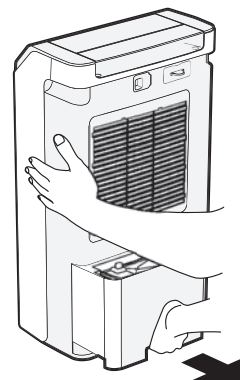
お願い

- キャスターで除湿機を移動するときに、床の材質によっては床が傷つくおそれがあります。傷のつきやすい床では、とってを持って除湿機を持ち上げて移動してください。
- 除湿機を傾けて移動しないでください。除湿機内の残水がこぼれ床などをぬらす原因になります。

運転前の確認

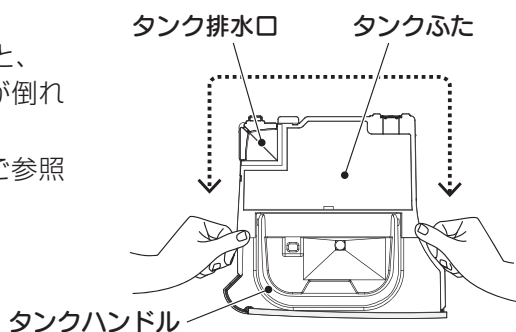
1. タンクを取り出す

- 片手で本体を押さえながら、タンクをゆっくり取り出してください。



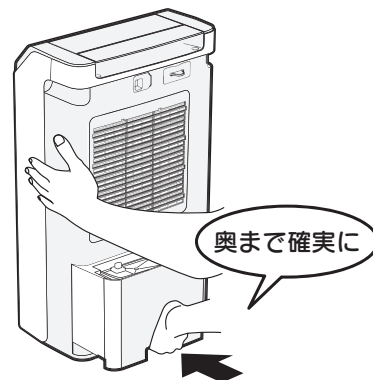
2. タンクを確認する

- タンクふた外周の溝がタンクにしっかりはめ込まれていること、タンク排水口が確実に閉まっていること、タンクハンドルが倒れていることを確認してください。タンクふたがはずれている場合は「お手入れのしかた」をご参照ください (P.22ページ)。



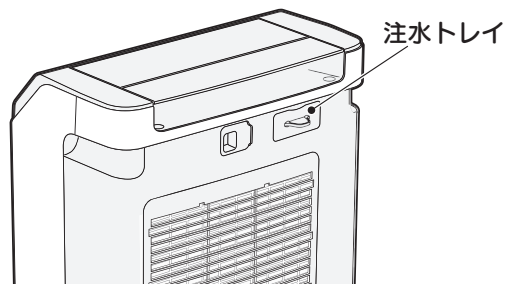
3. タンクを本体に戻す

- 片手で本体を押さえながら、タンクをゆっくり奥まで確実に入れてください。



4. 注水トレイを確認する

- 注水トレイが閉まっていることを確認してください。注水トレイが閉まっていないと、運転を開始できません。
- 熱交洗浄以外で誤って注水トレイを開けた場合は、「運転 入/切ボタン」を押してください。



お願い

- タンクふた、タンク排水口が確実に閉まっていることを確認してください。タンクの出し入れができないことがあります。
- タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水表示が点滅して運転を開始できません。
- 注水トレイが奥まで確実に閉まっていることを確認してください。注水トレイが閉まっていないと運転を開始できません。

運転のしかた

1. 運転を開始する

ルーバーが自動で開き、運転を開始します。

運転入/切 を押す

2. お好みの運転モードを選ぶ

■衣類乾燥をしたいとき

衣類乾燥 を押す

( 13ページ)

■除湿をしたいとき

除湿 を押す

( 14ページ)

■空気を循環したいとき

除湿 を押す

( 14ページ)

3. お好みの風量、風向を選ぶ

■風量を選ぶとき

風量 を押す

( 15ページ)

■風向を選ぶとき

上下方向

ルーバー を押す

( 15ページ)

左右方向

手動で調節する ( 15ページ)

4. 運転を停止する

各表示が消灯し、運転を停止します。
自動内部乾燥を設定しているときは、自動的に
内部乾燥運転をおこないます。

運転入/切 を押す

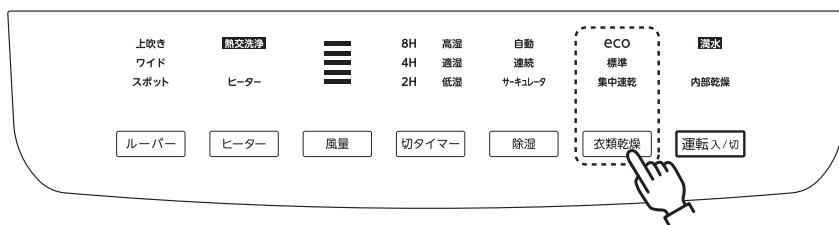
お願い

■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。ヒーターを使用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30～60秒間自動的に送風運転をおこない、その後ルーバーが閉じます。

お知らせ

- 電源プラグをコンセントに差し込んで「運転入/切ボタン」を押すと、初回は除湿運転の「自動」「風量3」で運転を開始します。次回以降は、前回と同じ運転モードで運転を開始します。
- 運転を停止してすぐに再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。
- 室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がることがあります。
- 切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

衣類乾燥をしたいとき



運転表示

運転内容

eco

ピッ

…電気代を節約して乾かしたいとき

- 除湿運転と送風運転を自動で切り替え、湿度を約60%に保ちながら連続で運転します。
- 衣類乾燥運転の「標準」よりも乾燥に時間がかかります。

ヒーター：使用できません
おすすめ風量：3

標準

ピッ

…速く乾かしたいとき

- 除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、洗濯物が乾いた頃に運転が自動停止します。
- 湿度が下がってきたら風向を自動で除湿機の真上へかえ、洗濯物を乾かします。
- ヒーターを使用しないで電気代を抑えた運転もできます(14ページ)。

自動停止：あり
ヒーター：入/切できます
おすすめ風量：5

集中速乾

ピッ

…少量の洗濯物を集中的に乾かしたいとき

- 除湿機の真上の洗濯物を約90分集中的に乾かします。
- ヒーターを使用しないで電気代を抑えた運転もできます(14ページ)。

自動停止：あり(約90分)
ヒーター：入/切できます
おすすめ風量：5

洗濯物が乾いた頃に運転を自動停止せず、連続で運転したいとき

洗濯物の乾きが不十分なときにおすすめです。

1. 運転停止中に **衣類乾燥** を3秒以上長押しする ピッ

2. **運転入/切** を押す

3. 運転モード（「標準」または「集中速乾」）を選ぶ

- 洗濯物が乾いた頃に運転を自動停止せず、連続で運転します。
- 運転中は衣類乾燥運転の「標準」または「集中速乾」の表示が点滅します。
- もとに戻りたいときは、もう一度運転停止中に「衣類乾燥ボタン」を3秒以上長押しするか、電源プラグを抜き差ししてください。

お願い

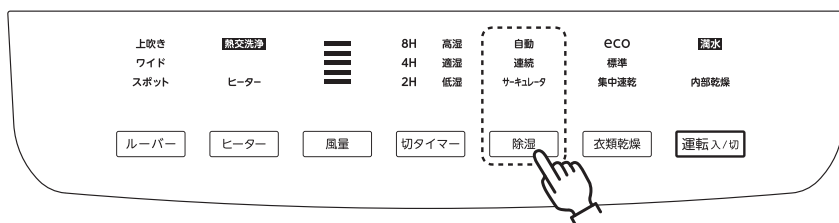
- 洗濯物が乾く前にタンクが満水で自動停止するのを防止するため、タンクの水をすててから運転を開始してください(17ページ)。
- 運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。ヒーターを使用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30~60秒間自動的に送風運転をおこない、その後ルーバーが閉じます。

お知らせ

- 衣類乾燥運転の「標準」や「集中速乾」で運転中に切タイマーを設定(16ページ)すると、自動停止より切タイマーが優先されます。そのため設定時間によっては、洗濯物が乾く前に停止したり、乾いた後も運転し続けることがあります。
- 衣類乾燥運転の「標準」や「集中速乾」では、洗濯物の量・種類・干し方、お部屋の環境によって洗濯物が乾く前に自動停止する場合があります(7ページ)。
- 切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

使
い
か
た

除湿／空気を循環したいとき



運転表示

運転内容

自動

ピッ

…快適な湿度を保ちたいとき

■お部屋の湿度に応じて除湿運転と送風運転を自動で切り替え、お部屋の湿度を約60%の適湿状態に保ちます。

ヒーター：使用できません
おすすめ風量：3

連続

ピッ

…急いで湿気をとりたいとき

■お部屋の湿度に関係なく、連続で除湿運転をおこないます。
■冬場のお部屋の温度が低いときは、ヒーターを使用して除湿効果を高めた運転もできます(14ページ)。

ヒーター：入/切できます
おすすめ風量：3

サーキュレータ

ピッ

…お部屋の空気を循環したいとき

■連続で送風運転をおこないます。
除湿はしません。

ヒーター：使用できません
おすすめ風量：1 (音を抑えたいとき)
5 (お急ぎのとき)

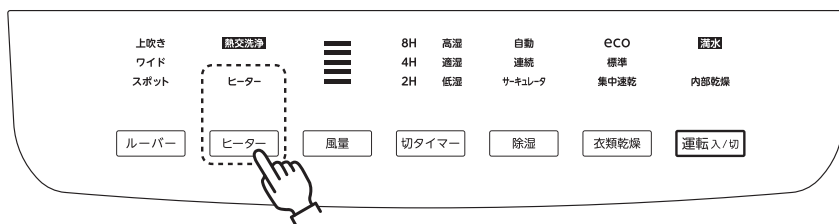
お願い

■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。ヒーターを使用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30～60秒間自動的に送風運転をおこない、その後ルーバーが閉じます。

お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込んで「運転入/切ボタン」を押すと、初回は除湿運転の「自動」「風量3」で運転を開始します。次回以降は、前回と同じ運転モードで運転を開始します。

ヒーターの入／切を選ぶとき



■ヒーターを使用しない

■電気代を抑えたいとき
(衣類乾燥に時間がかかります。)

1. 運転中に **ヒーター** を押す ピピッ

ヒーター (消灯)

■ヒーターを使用する

■洗濯物を早く乾かしたいとき
■お部屋の温度が低いとき

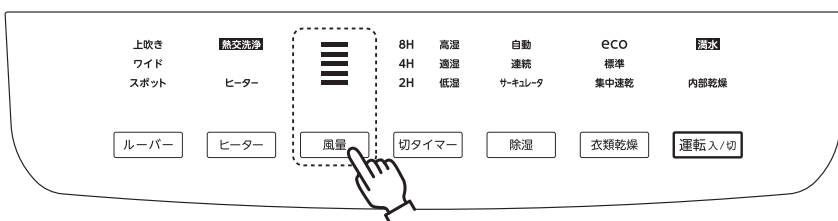
1. 運転中に **ヒーター** を3秒以上長押しする ピッ

ヒーター (点灯)

お知らせ

■衣類乾燥運転の「eco」、除湿運転の「自動」「サーキュレータ」ではヒーターは使用できません。
■「風量1」のときは、機器保護のためヒーターは使用できません。
■機器保護のためヒーター表示が点灯していてもヒーターを使用できない場合があります。

風量を選ぶとき

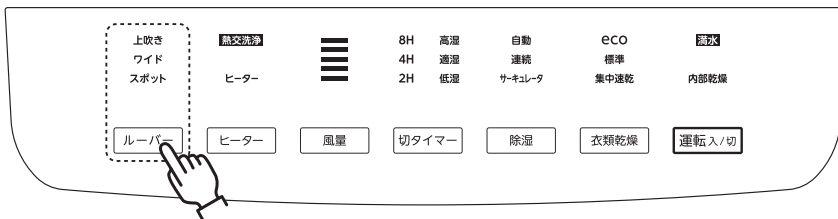


■ 「風量ボタン」を1回押すごとに、風量3⇒風量2⇒風量1⇒風量5⇒風量4と切りかわるので表示を確認のうえ「風量ボタン」を押してください。

お知らせ

- 電源プラグをコンセントに差し込んで「運転 入/切ボタン」を押すと、初回は除湿運転の「自動」「風量3」で運転を開始します。次回以降は、前回と同じ運転モードで運転を開始します。
- ヒーターを使用しているときに「風量1」に切りかえると、ヒーターは自動で切れます。風量を上げると自動でヒーターが入ります。
- 室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がることがあります。
- 運転停止中に「風量ボタン」を押すと、自動内部乾燥が設定されます(▶20ページ)。

風向を選ぶとき

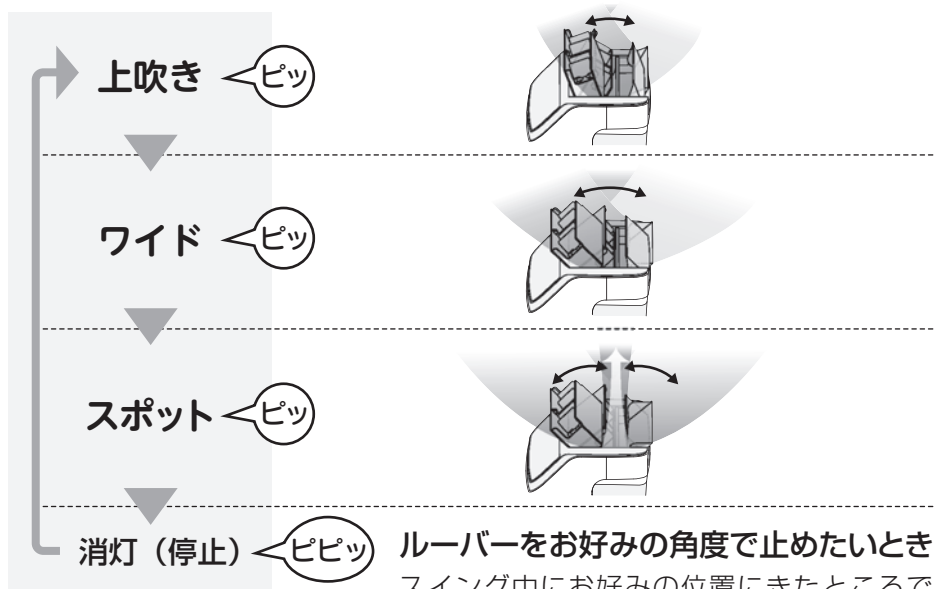


■ 上下方向

上下のスイング範囲を選ぶことができます。

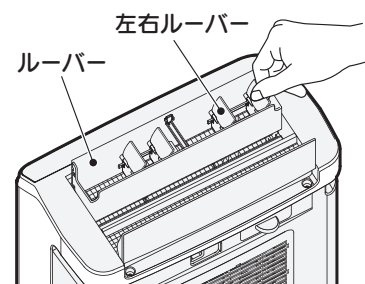
運転表示

運転内容



■ 左右方向

左右の送風範囲を手動で調節することができます。



ルーバー動作停止中に手で左右ルーバーを動かす。

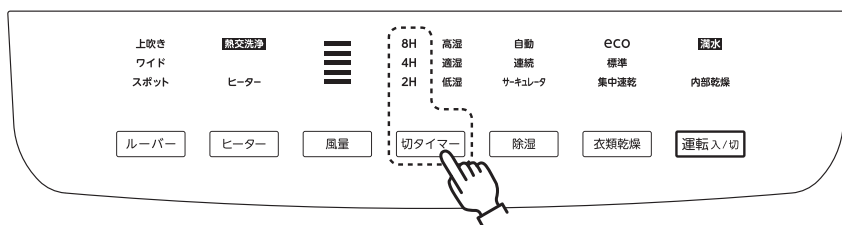
お願い

- ルーバーは手で動かさないでください。ルーバーが破損する原因になります。
- 左右ルーバーを手で動かすときは、ルーバーを停止してからおこなってください。ルーバーや左右ルーバーが破損する原因になります。

お知らせ

- 吹き出し方向によって、風を吹き出す音が変わります。
- 位置合わせのためルーバーが一時的に止まるありますが、その後動き出します。

切タイマーを使うとき



運転時間	2時間	4時間	8時間	連続
運転表示	8H 4H 2H	8H 4H 2H	8H 4H 2H (全点灯)	8H 4H 2H (全消灯)

1. 運転中に「切タイマー」を押して、2時間⇒4時間⇒8時間⇒連続を切りかえる

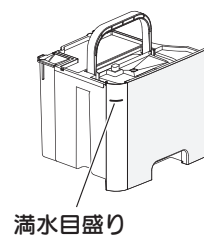
- 設定した運転時間が経過すると運転を停止します。
- 切タイマー表示は時間の経過とともに、残り時間を表示します。
- 残り時間表示中に「切タイマーボタン」を押すと、切タイマー時間が再設定されます。

お知らせ

- 切タイマーを設定すると、衣類乾燥運転の「標準」や「集中速乾」の自動停止より優先されます。そのため設定時間によっては、洗濯物が乾く前に停止したり、乾いた後も運転し続けることがあります。
- 切タイマー設定中にタンクが満水になり運転が停止すると、タイマーの残り時間は一時停止します。排水後は、残り時間運転します。
- 切タイマー設定中に「運転入/切ボタン」で運転を停止させるとタイマーはリセットされます。
- 運転停止中に「切タイマーボタン」を押すと、内部乾燥運転をおこないます(20ページ)。

満水のお知らせ

タンクに約5.5Lの水がたまると、自動的に運転を停止し、満水表示の点滅とメロディーで満水をお知らせします。水位窓の満水目盛りが、満水で停止する目安になります。



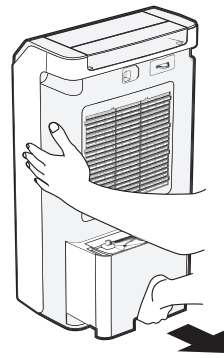
発車ベル音と、メロディーを鳴らしたくないとき

1. 運転停止中に「ルーバー」を3秒以上長押しする (ピッ)

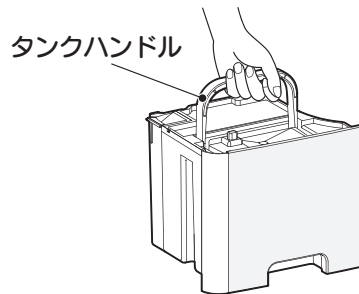
- 運転開始時の発車ベル音と、運転停止および満水時のメロディーが鳴らなくなります。
- もとに戻したいときは、もう一度運転停止中に「ルーバーボタン」を3秒以上長押しするか、電源プラグを抜き差ししてください。

排水のしかた

1. 片手で本体を押さえ、タンクをゆっくり取り出す

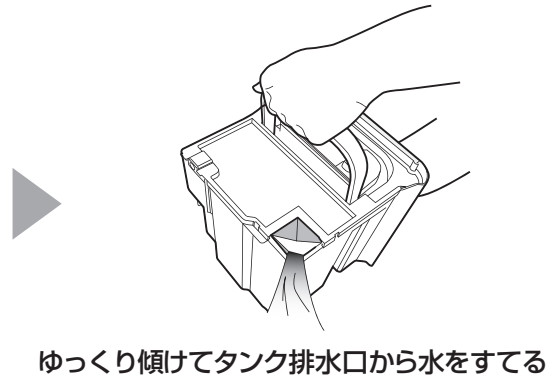
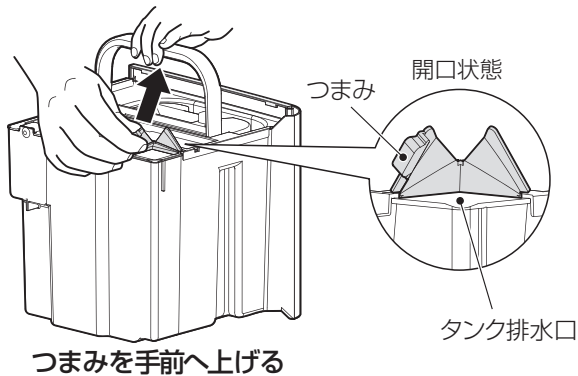


2. タンクハンドルをしっかり持ち、傾けないようにゆっくり運ぶ



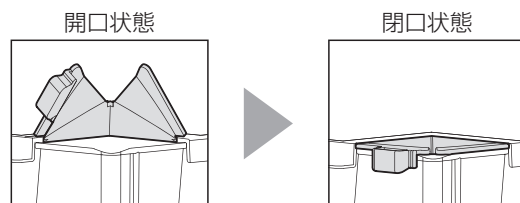
3. タンク排水口を開け、タンクをゆっくり傾けて水をすてる

■タンクふたはお手入れのとき以外ははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。



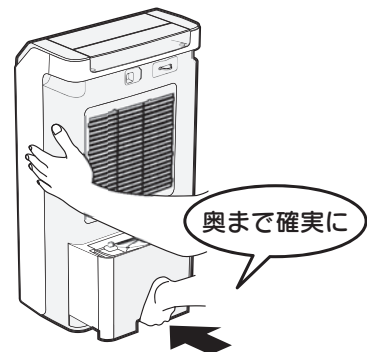
4. タンク排水口を閉める

■つまみを押し下げてタンク排水口を確実に閉め、タンクふたの浮きがないことを確認してください。



5. タンクを本体に戻す

■片手で本体を押さえながら、タンクをゆっくり奥まで確実に入れてください。



お願い

- タンク排水口は確実に閉めてください。タンクの出し入れができないことがあります。
- タンク内のウキははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。
- タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水表示が点滅して運転を開始できません。

お知らせ

- 排水時にタンクふたの端から水がもれることがあります。

連続排水のしかた

近くに排水できる場所があれば、市販のホースを取り付けることで連続排水ができます。
タンクの排水の手間がかからず便利です。

注意



排水ホースを使用する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにする

必ず守る

排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内にもれて家財などをぬらす原因になることがあります。



連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする

必ず守る

水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。排水ホースは定期的に点検してください。

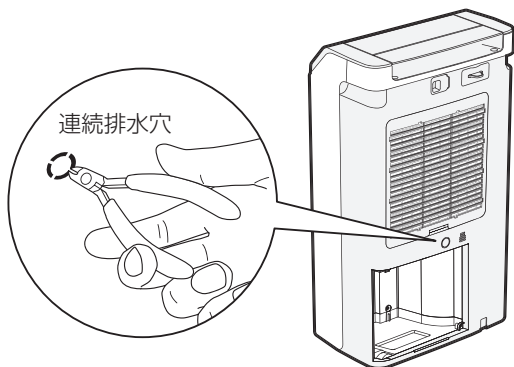
ご用意いただくもの

- ・排水ホース（市販のホース、内径15～16mm）
- ・先端の細いペンチ
- ・六角レンチ（直径3mm）
- ・ニッパーなど
- ・ヤスリ

1. 電源プラグをコンセントから抜き、タンクを取り出す

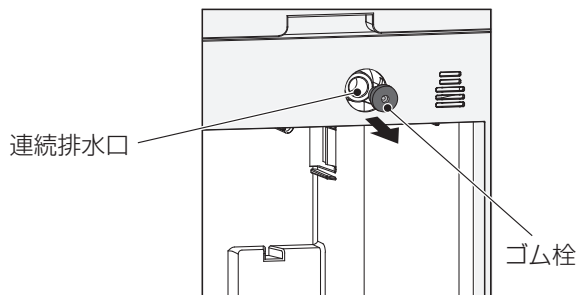
※必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いたのち、以下の作業をおこなってください。

2. 本体背面の連続排水穴を開け、連続排水口のゴム栓をはずす



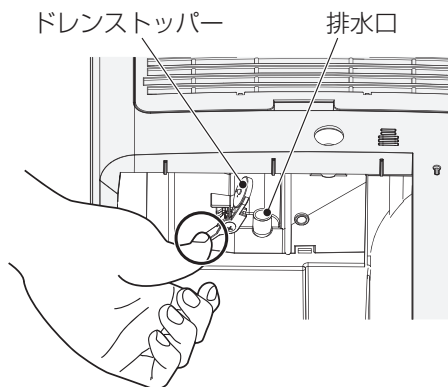
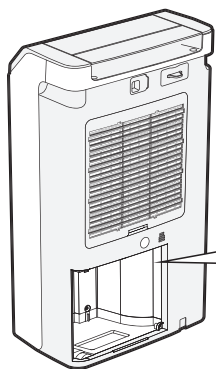
■連続排水穴をニッパーなどで取りはずし、切断部をヤスリなどで仕上げてください。

※保護具などを着用して切断部でけがをしないよう注意してください。

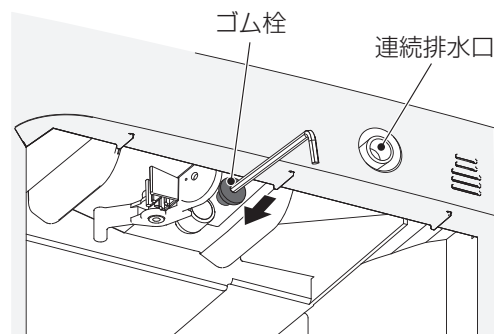


■連続排水口の中にある黒色のゴム栓を先端の細いペンチなどで抜き取ってください。
このゴム栓は次の手順で使用します。

3. 連続排水口のゴム栓を、排水口へつけかえる



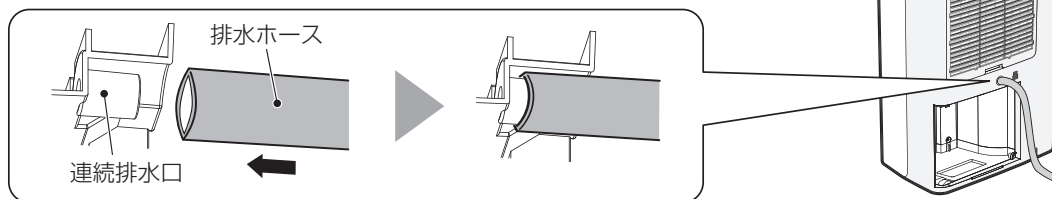
■ドレンストッパーの丸で囲った部分を押しつけて排水口を開いてください。



■ゴム栓を直径3mmの棒状のもの（六角レンチなど）で差して、排水口の奥まで押し込んでください。

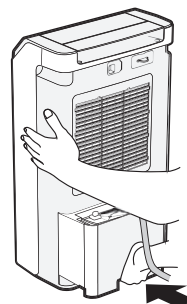
4. 連続排水口に排水ホースを取り付ける

■ホースの先を連続排水口にしっかり根もとまで差し込んでください。



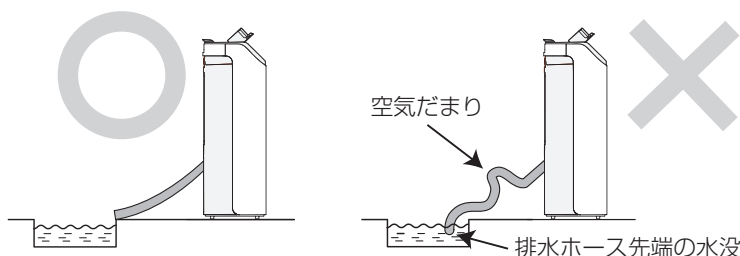
5. タンクを本体に戻す

■タンクを戻さないでと運転できません。



6. 試運転をおこなう

■排水ホース取り付け後は試運転をおこない、水もれがないこと、ホースから確実に排水されることを確認してください。



お願い

- 排水ホースは連続排水口の根もとまで確実に差し込んでください。水もれの原因になります。
- 排水ホースは、排水方向に対して必ず下り勾配で取り付け、たわんだり水がたまらない長さに調整してください。また、排水ホースの先端を水につけたり、途中で高くしたり折り曲げたりしないでください。水もれの原因になります。
- 連続排水するときは、定期的に(2週間に1回)エアフィルタの目詰まりや排水ホースの詰まりがないことを点検してください。

お知らせ

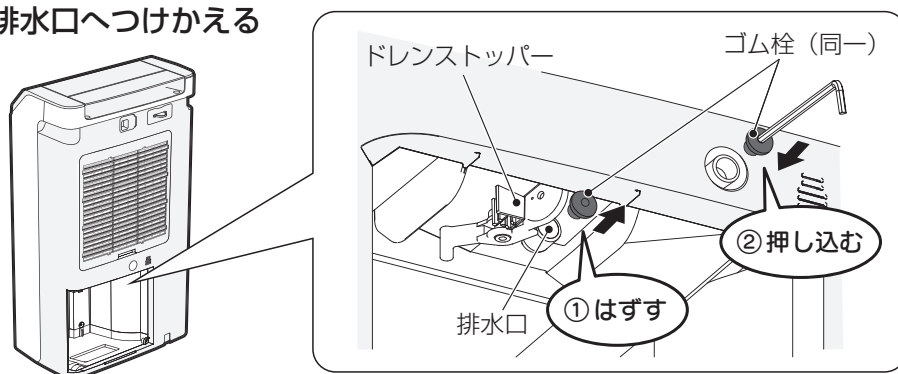
■切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

連続排水をやめて元に戻したいとき

1. 連続排水口の排水ホースをはずし、タンクを取り出す

2. 排水口のゴム栓をはずし、連続排水口へつけかえる

■ドレンストッパーが排水口をふさいでいることを確認してください。



3. タンクを本体に戻す

お知らせ

■ドレンストッパーで排水口からの水の滴下を防ぎますが、排水口付近に付いた水が落ちることがありますのでふきとってください。

内部乾燥のしかた

内部乾燥は、除湿機内部を乾燥させ、いやな臭いの原因となるカビや雑菌の繁殖をおさえる機能です。

運転停止中に内部乾燥をおこないたいとき

1. 運転停止中に **切タイマー** を押す

- 内部乾燥運転は除湿機内部の状態によって約30分～90分で自動停止します。
- 内部乾燥運転中は、ルーバーは「上向き」で送風運転します。運転中は内部乾燥表示が点灯します。
- 途中で運転を停止したいときは、「運転入/切ボタン」を押してください。



お知らせ

- すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、殺菌効果はありません。
- 除湿機内部にこもった湿気を吹出口より放出するため、お部屋の湿度が上がることがあります。
- 満水表示が点滅している（タンクが満水になっている、またはタンクが本体に入っていない）ときは、内部乾燥運転を開始することができません。
- 衣類乾燥運転や除湿、サーキュレータ運転中に「切タイマーボタン」を押すと、切タイマーが設定されます。運転を停止してから操作をおこなってください。

運転停止後に自動的に内部乾燥をおこないたいとき

1. 運転停止中に **風量** を押す

- 運転停止後、自動的に内部乾燥をおこないます。
- 設定完了時に内部乾燥表示が5回点滅します。
- もとに戻したいときは、もう一度運転停止中に「風量ボタン」を押すか、電源プラグを抜き差ししてください。



お知らせ

- 初回は自動内部乾燥の設定はされていません。
- 運転停止中に「切タイマーボタン」を押すと、内部乾燥運転をおこないます。その際自動内部乾燥の設定は解除されます。
- 電源プラグを抜き差しした後は、自動内部乾燥の設定は解除されます。

熱交洗浄のしかた

2週間に1回

熱交洗浄は、除湿機内部の熱交換器を水洗いして、清潔に保つ機能です。定期的に（2週間に1回程度）おこなっていただくにより効果的です。

 **注意**



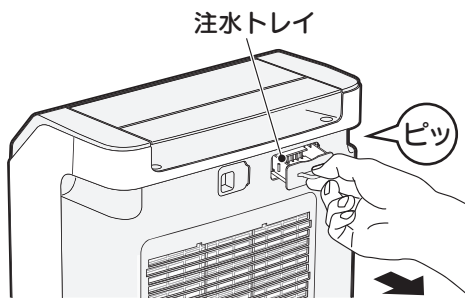
注水トレイには水道水以外（お湯、洗剤、化学薬品など）入れない

お湯（40℃以上）、アルカリイオン水、洗剤や化学薬品（エタノール、塩素など）などを入れた水、井戸水などを入れない。変形や割れ、性能低下の原因になることがあります。

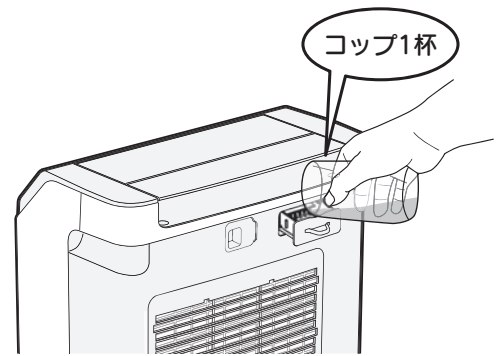
1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- 運転中の場合は運転を停止してください。
- 満水表示が点滅しているときはタンクの水をすててください。熱交洗浄を開始できません。

2. 注水トレイを開け、水道水（200mlまで）を入れる



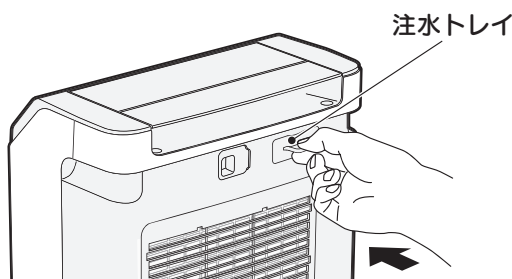
「注水トレイが開いたとき」



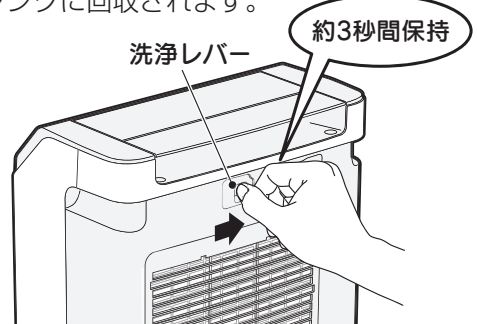
水道水は200ml以上入れないでください。
水もれのおそれがあります。

3. 注水トレイを閉めて、洗浄レバーを右に引き、約3秒間保持したのち洗浄レバーを戻す

■注水した水が除湿機内部の熱交換器を水洗いします。洗浄した水はタンクに回収されます。



注水トレイは奥まで確実に閉めてください。
注水トレイが閉まっていないと運転を開始できません。



洗浄レバーは右端までしっかりと引いてください。
注水した水が全て流れ落ちず、本体に残るおそれがあります。

4. 注水トレイを閉めてから約5分後に乾燥運転を開始します

■乾燥運転は除湿機内部の状態によって約30分～90分後に自動停止します。

途中で運転を停止したいときは、「運転 入/切ボタン」を押してください。

「乾燥運転待機中」



「乾燥運転中」



5. 乾燥運転終了後、タンクの水をすてる

■熱交換器から落ちた汚れは水と一緒にタンクにたまります。

「乾燥運転終了」



(消灯)

お知らせ

- 熱交洗浄で汚れを全て洗い流せるわけではありません。
- 熱交洗浄以外で誤って注水トレイを開けた場合は、「運転 入/切ボタン」を押してください。
- 注水トレイははずせません。無理にはずすと運転を開始できなくなります。

お願い

- 注水時には清潔な容器を使用してください。性能低下の原因になります。
- 注水トレイに水を入れ、注水トレイを閉めた後、必ず洗浄レバーを右に引いてください。洗浄レバーを右に引かずに除湿機を移動すると注水トレイ内の水がこぼれ水もれの原因になります。
- 注水トレイは奥まで確実に閉めてください。注水トレイが閉まっていないと運転を開始できません。

お手入れのしかた



警告



お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。



注意



除湿機を直接水洗いしない

除湿機内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。



お手入れをするときは40℃以上のお湯やベンジン、シンナー、みがき粉、エタノール、化学ぞうきんなどを使用したり、殺虫剤をかけない

本体やタンクを傷め変形や割れ、水もれの原因になることがあります。



タンクからウキをはずさない

タンクが満水になっても運転が停止せず、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

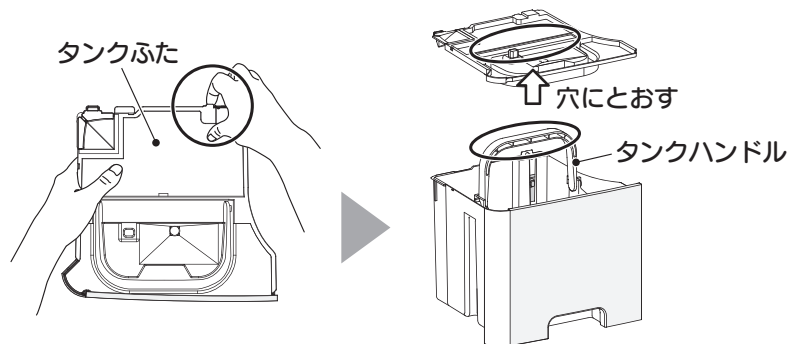
タンクのお手入れ

1週間に1回

1. タンクふたを取りはずす

■タンクふたの丸で囲った部分を持ち上げてはずし、タンクふたを外周の溝にそって両手でタンクからはずしてください。

その後、タンクハンドルをたててタンクふたの穴にとおし、取りはずしてください。

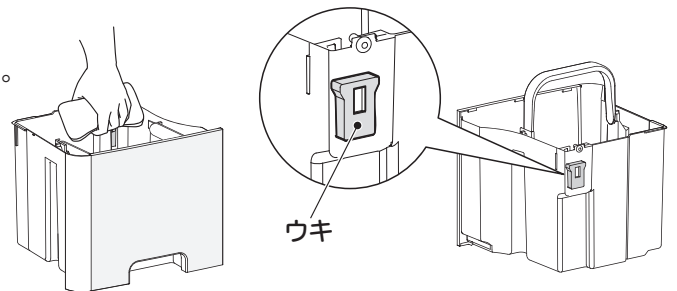


2. タンクふたとタンクを水洗いする

■タンクふたとタンクを水で2～3回すすいでください。

3. 洗い終わったら、柔らかい布で水分をふきとる

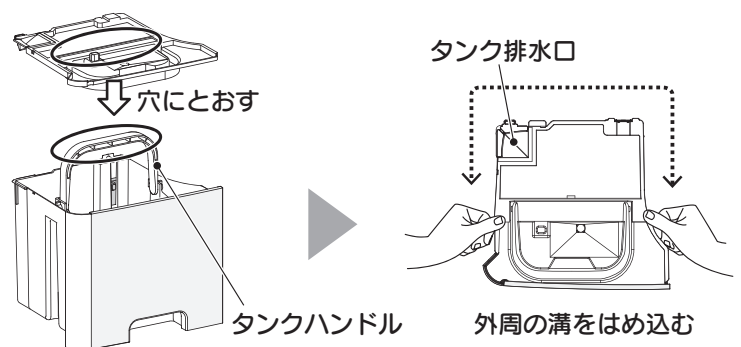
■ウキが確実に取り付けられていることを確認してください。



4. タンクふたを取り付ける

■タンクハンドルをたててタンクふたの穴にとおし、タンクふたを外周の溝にそって両手でタンクにしっかりとめ込んでください。

また、タンク排水口が確実に閉まっていること、タンクハンドルが倒れていることを確認してください。



お願い

■お部屋の状況によっては空気中の汚れが除湿水に溶け込むため、タンクの内側やタンクふたが黒ずむことがあります。汚れがひどいときは、水またはぬるま湯（40℃以下）でやわらかいスポンジを使って洗ってください。強くこすると傷の原因になることがあります。

■ウキは傷付けないように注意してください。

■お手入れ後は、タンクふた、タンク排水口を確実に閉めてください。タンクの出し入れができないことがあります。

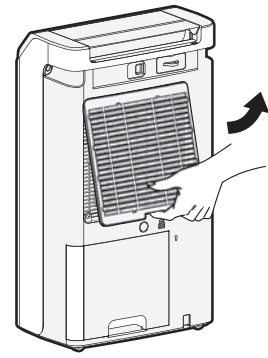
エアフィルターのお手入れ

2週間に1回

エアフィルターにほこりやゴミがたまると風量が減少し、除湿能力が低下します。

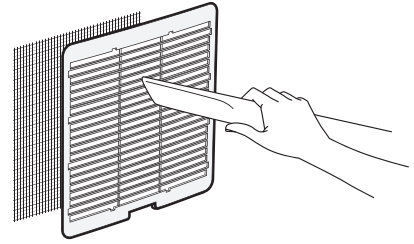
1. フィルターケースを取りはずす

- 下側を持ち、手前に引いて取りはずしてください。



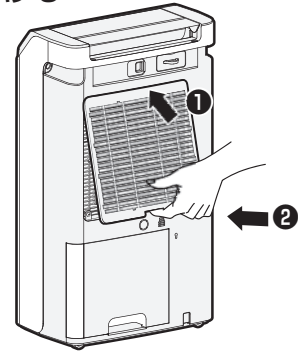
2. フィルターケースからエアフィルターを取りはずし、掃除機を使用するか、軽いたたいてほこりやゴミを取り除く

- 掃除機を使用する場合は、エアフィルターを吸い込まないように注意してください。



3. フィルターケースにエアフィルターを取り付けてから、本体に取り付ける

- 上側①をはめ込んでから下側②をはめ込んでください。



お願い

- 掃除機を使用するときは、ブラシ付ノズルは使わないでください。破損・変形の原因になります。
- エアフィルターをはずしたまま運転しないでください。除湿機内部にほこりやゴミが入り、故障の原因になります。

本体のお手入れ

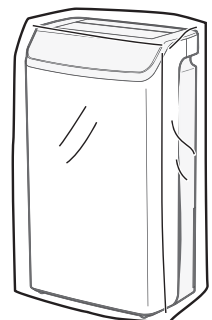
1ヶ月に1回

本体は、柔らかい布でからぶきしてください。

汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた布をかたくしぼってふいてください。

長期間使わないとき

- ①熱交洗浄、または内部乾燥をする（☞ 20～21ページ）。
なるべく1日以上おいて除湿機内部の水が落ちきってから、以下の作業をしてください。
- ②電源プラグを抜き、タンクの水をすてる（☞ 17ページ）。
- ③タンク、エアフィルター、本体のお手入れをする（☞ 22～23ページ）。
- ④タンクを本体に戻して、電源コードをコードバンドでまとめて、本体背面のコード掛け穴（☞ 9ページ）に引っ掛ける。
- ⑤本体にほこりよけのポリ袋などをかぶせ、湿気が少なく直射日光の当たらない水平で安定した場所に、立てたまま保管する。



お願い

- 本体は立てたまま保管してください。傾けると、故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

修理・サービスをお申しつけになる前につきの点をお調べください。

	症 状	原 因
故障では ありません	運転中なのに送風機だけが 運転している	<ul style="list-style-type: none"> ■室温が約40℃以上のときは、機器保護のため送風運転になることがあります。 ■運転を停止してすぐに再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。 ■除湿運転の「自動」、衣類乾燥運転の「eco」で運転しているときは、湿度が低下して適湿状態になると、送風運転に切りかわります。 ■霜取り運転中は、送風運転になります。
	本体表面があたたかくなる	■運転中はコンプレッサーやヒーターの熱によりあたたかくなりますが、異常ではありません。
	運転中に自動的に風量が変わる	<ul style="list-style-type: none"> ■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がることがあります。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。
	吹出口から温風が出る	<ul style="list-style-type: none"> ■運転時の吹出口の風は、コンプレッサーで発生する熱により室温より高くなります。 ■ヒーターを使用し運転しているときは温風が出ます。
	タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため、湿度が高いときは露がつくことがあります。
	たまに「ピシ」という音がする	■部品が熱膨張・収縮するときの音です。異常ではありません。
	運転のはじめに若干臭いがする	■この製品はヒーターを搭載しています。運転のはじめに若干臭いを感じるがありますが、異常ではありません。
	除湿機の湿度表示とお部屋の湿度計の表示が異なる	<ul style="list-style-type: none"> ■湿度は同じお部屋でも場所や条件により差があります。 ■湿度表示は目安としてお使いください。
	ヒーターを使用しても温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ■衣類乾燥運転の「eco」、除湿運転の「自動」「サーキュレータ」ではヒーターは使用できません。 ■「風量1」のときは、機器保護のためヒーターを使用できません。 ■機器保護のためヒーター表示が点灯していてもヒーターを使用できない場合があります。
	熱交換洗浄時に水の落ちる音がする	■洗浄レバーの操作によらず水が落ちることがあります。
もう一度 お調べ ください	運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ■タンクが正しく入っていますか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。 ■タンクが満水になっていませんか。 ■注水トレイが開いていませんか。
	除湿能力が低下した	<ul style="list-style-type: none"> ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■室温、湿度が低くありませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。
	なかなか湿度が下がらない	<ul style="list-style-type: none"> ■ドア、窓の開閉が多くありませんか。 ■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありますか。 ■お部屋が広すぎませんか。
	音がうるさい	<ul style="list-style-type: none"> ■不安定なところに置いていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。
	洗濯物がなかなか乾かない	<ul style="list-style-type: none"> ■洗濯物に吹出口の風があたっていますか。 ■広いお部屋で乾かしていませんか。 ■洗濯物の量が多くありませんか。 ■室温が低くありませんか。
	操作ボタンを押しても受け付けない	<ul style="list-style-type: none"> ■操作部や指に水や汚れがついていませんか。 ■手袋や絆創膏など、指が覆われた状態で操作していませんか。 ■操作ボタンの中心を押していますか。

つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へご連絡ください。

- ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- その他、異常のあるとき
- 電源プラグや電源コードが異常に熱いとき
- 電源プラグや電源コードの被覆が破れているとき
- 湿度表示が2つ以上点灯、または1つでも点滅しているとき
- 使用中に異常音がするとき

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書

- 保証書は30ページに印刷されています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。（ただし、冷媒回路の保証期間は3年間です。）

保証期間中は

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後は

- お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（P.25ページ）にご相談ください。修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理を依頼されるときは

- 「知っておいていただきたいこと」（P.6ページ）
- 「故障かな？と思ったら」（P.24ページ）を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（P.25ページ）にご連絡ください。ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - 品名：除湿機
 - 型式（銘板（P.9ページ）または保証書をごらんください。）
 - お買いあげ日（保証書をごらんください。）
 - 故障内容（できるだけ具体的に。本体表示部が点滅しているときは、その内容も確認してください。）
 - ご住所・お名前・電話番号
 - 訪問ご希望日

- この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリーダイヤル  **0120-919-302**

携帯電話 ナビダイヤル  **0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

<https://www.corona.co.jp/support/service/>



- 365日24時間修理依頼ができます。
- 部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
- 右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。



公式オンラインストア

CORONA STORE

<https://ec.coronaweb.com/>


(コロナ公式ホームページからもアクセスできます)



926040R

点検整備のおすすめ

除湿機を数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。除湿機を長持ちさせるため通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

<p>愛情点検</p>  <p>このような症状はありませんか</p>	<p>長年ご使用の衣類乾燥除湿機の点検をぜひ！ ●衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運転入/切ボタンを押しても運転しないときがある ■ 電源プラグや電源コード等が異常に熱くなる ■ こげくさい臭いがしたり、異常な音がある ■ 電源コードに触れると通電しなかったりする ■ プレーカー、ヒューズがたびたび切れる ■ その他の異常や故障がある 	<p>ご使用中</p> <p>故障や事故防止のため、運転入/切ボタンを押して運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。点検・修理についての詳しいことは、お買いあげの販売店にご相談ください。</p>
---	--	--

必要なときに

MEMO

MEMO

MEMO

コト 衣類乾燥除湿機保証書

型式	E453-112		
★ お 客 様	お名前	様	
	ご住所 〒(-)		
	電話 () -		

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。

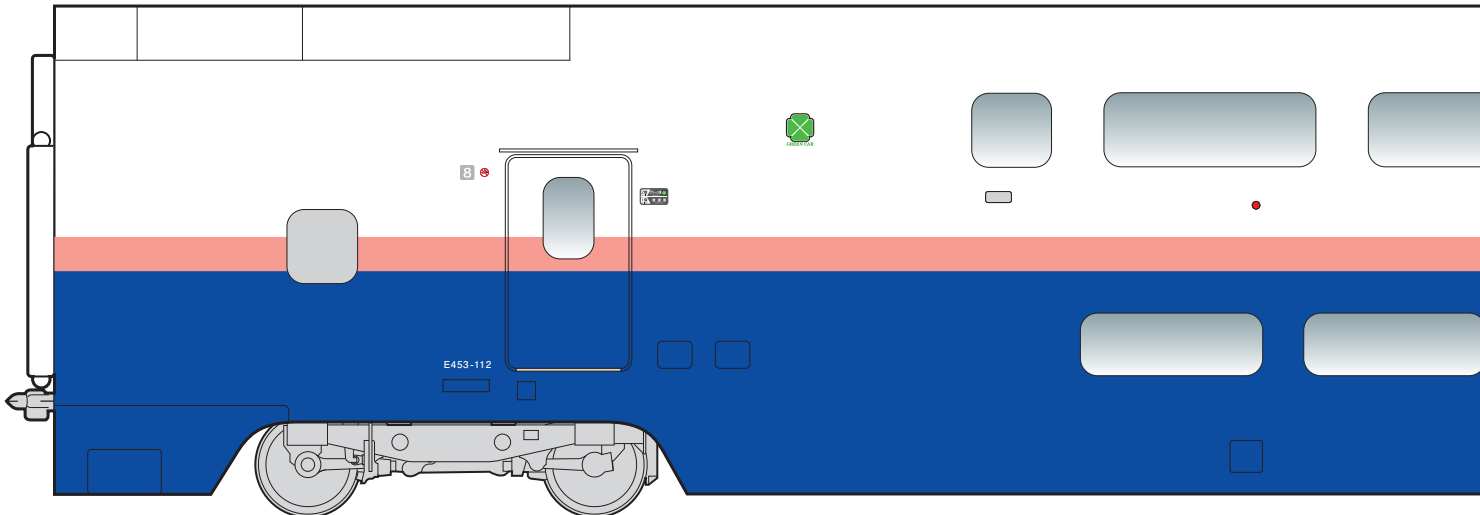
お買いあげの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日		年 月 日		★ 販 売 店	住所・店名	
保 証 期 間	対象部分	本 体	冷 媒 回 路 (圧縮機・蒸発器 凝縮器・冷媒配管等)		電 話 () -	
	期 間 (お買いあ げ日より)	1 年	3 年			

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記入がない場合は、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

修理メモ



《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口（本書25ページに記載）にお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) 取扱説明書、本体表示等によらないで使用された場合、または適切な点検・手入れを行なわなかったことにより発生した不具合
 - (ハ) お買いあげ後の輸送、落下等による故障および損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷
 - (ホ) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
 - (ヘ) 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
 - (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid in Japan only.
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

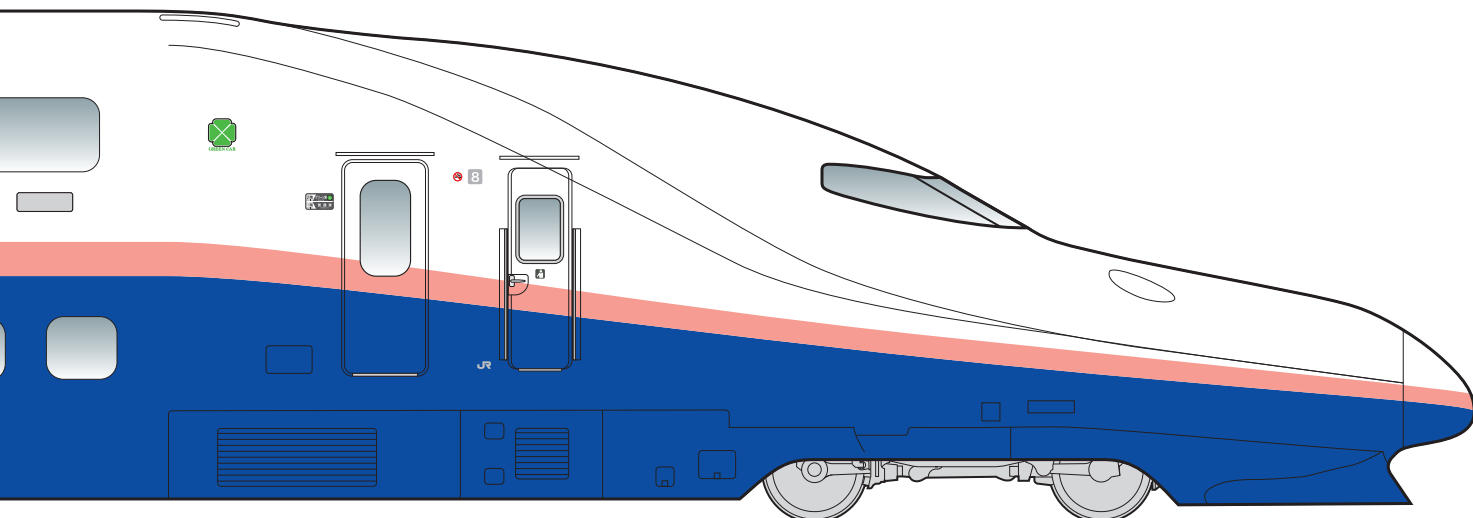
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書25ページに記載）にお問い合わせください。

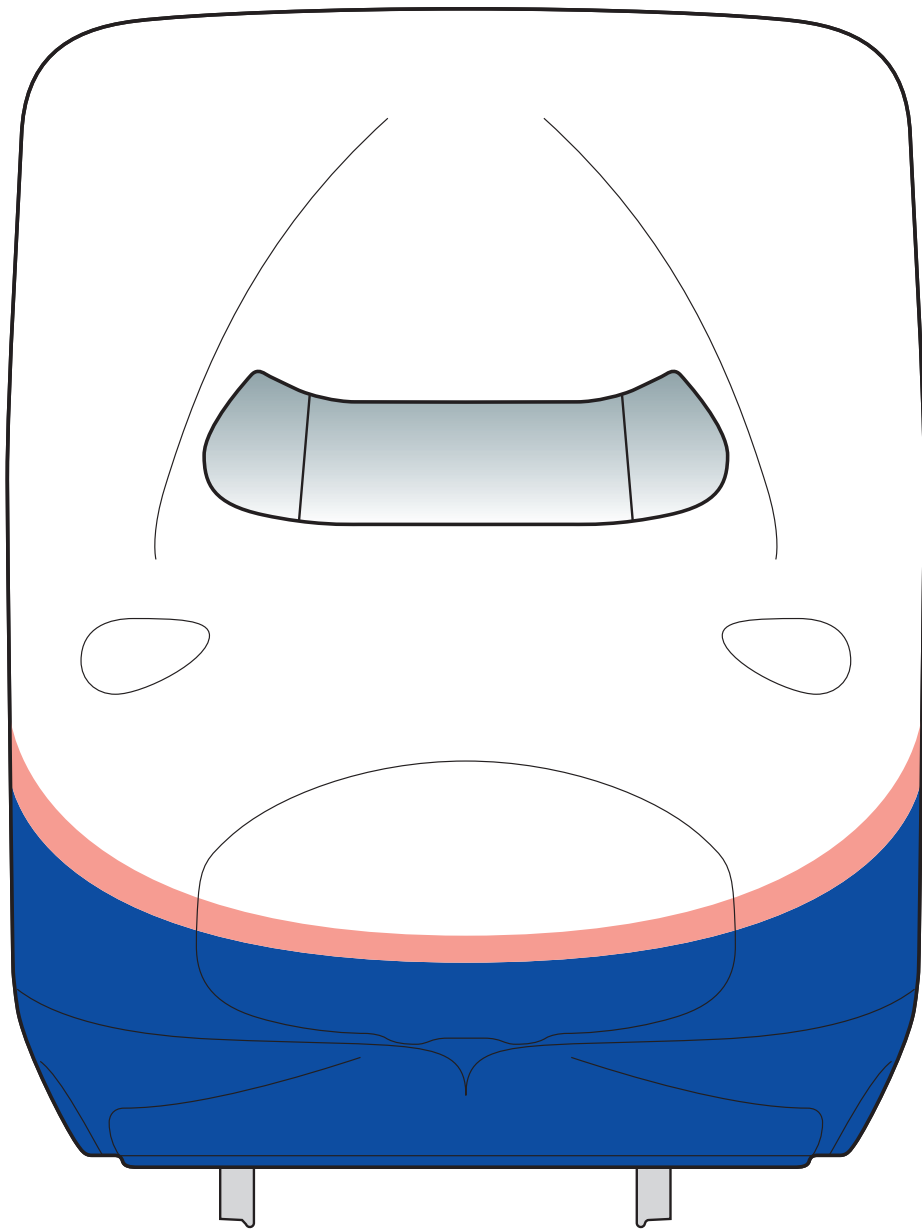
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書25ページに記載）にお問い合わせください。

株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 <代表>
ホームページ <https://www.corona.co.jp/>





株式会社 **JO+**